

# 「VISION 2032」

## 私達の活動の全体像

会員、市民と有識者との対話を核として、関係機関との  
合意形成を大切にしながら  
VISION の実現を目指してまいります



2022年12月23日

一般財団法人 江戸東京歴史文化ルネッサンス

### 3. 城郭都市 江戸東京と文化観光について



[1] スカイツリーも雷門も、日本の首都の顔が見えない。ロンドン、パリ、北京等、世界の首都はその国の代表する建造物をみせている。

[2] 電波塔がランドマークの都市というのは威張れたものではない。お城やお寺やキリスト教のドームといったランドマークが無いと、観光の東京と言っても進まないのではないかな。

[3] 東京は観光で通過都市・パッシング傾向の統計（行政や民間）がでている。また、海外からは、東京の観光や文化財への注目が高い一方で、観光の充実度の低いことも指摘されている。このような現実を行政や民間観光はどう考えているか。これまでは、財政も豊であったが、今後は厳しい状況が待っている。東京全体を俯瞰した利益計画で、行政も民間企業も個々の単年度利益追求ではなく、市民目線、観光する人目線で、考えてほしい。（60代女性）

[4] 東京観光はそれぞれの地域、それぞれの行政や民間の機関が頑張っているが、観光地図一つとってもバラバラとなっていて、東京全体の魅力は何か？東京を俯瞰する案内がないのは、如何なものか！あまりにもお客様目線が欠落している。先進的な京都を参考にしたら？

[5] リアル面では、点在する歴史文化資源を「線」で体感できる街道のデザイン、デジタル面では、東京都や各区で乱立している観光パンフレットの連携・統合などにつながることを期待する。（40代男性）

[6] 観光は見る・学ぶ・食べる・遊ぶ等の、総合産業である。国策として観光立国は推進され、観光地域法人にはホテル・旅館・宿泊、鉄道・航空・バス、美術館、土産店、地域のレストランや飲食業、行政等、地域住民、多くのステークホルダーが集まる。民間中心のラウンドテーブルによる推進が求められているのではないかな。（40代女性）

[7] 総合産業としての観光は、観光資源及び地域まちづくりを俯瞰し主導する役割があるのではないかな。行政、民間、学識者のラウンドテーブルの設置が必要と思う。行政の縦割り。組織の仕組みから行政が中核になり動くことを待っていたら日が暮れると考える。（60代男性）

[8] 行政を始め民間の多くのステークホルダーとガッチリと手くむことが肝要であり、観光立国基本計画推進法でも、観光は「中核」になる役割・使命があるのではないかな？（40代男性）

[9] ホームページに文化財情報等の蓄積を進めているのでトップページに枠を作りその箇所をクリックすると提言の際に具体的活動を見せることができると思う。（60代女性）

[10] 国交省HPのDMOの説明をみているとまた内閣府も地域創生を云い、どの地域も観光協会、TCVB等の混在する中、あるべきイメージを提言できればと思う（60代女性）

#### 4. 今後の展開・活動の考え方や進め方について

- [11] コロナ禍にウクライナ戦争等社会経済は先行きが不透明の下、将来、未来に向けて、しっかり、VISION 2032は本物志向で取り組んでいく姿勢を感じる。まずは、コンセンサスをしっかりと作り上げることが重要であり、コンセンサス形成に期限は切れない。この運動は、2032年を一つの目途にしてコンセンサスを作ること自体に価値があると思う。それが江戸城再生運動の歴史になっていくと思う。(40代男性)
- [12] 再建の時期が明示されていないので、実現性に疑問・不満を持った(60代女性)
- [13] 持続可能なまちづくりには時間を要すること、一発成功や線香花火はそぐわない。地道な運動を継承できる体制が肝腎であり、参加と継続が運動の鍵となる意味や価値をもっと掘り下げる質の高い意見交換する時期にあるのではないかと。今、何のために何ができるかを問い行動する次世代(年齢にかかわらず)の活動をする多様な人材が必要となっている。社会課題としての夢や目標を信じ、発言し、行動する。目先の利益にとらわれず無償でも粘り強く持続的に活動する人を求めて行きたい(70代女性)
- [14] 「いま」「なぜ」江戸城全体整備構想が必要かを考えるにあたり、現在の社会課題の何に焦点をあてるべきなのか、どんな未来の方向性を目指したいのか、これらの世論形成(議論喚起)が必要であると考えた。(40代男性)
- [15] 先日の提言のように、年1回でも大変かもしれないので、行政に動きがあるタイミングで無理なく提案を続けていくことが役割の一つという気がする。一緒に考える大学の先生方、イコモスなどの関係団体とのネットワークをこれからも続けながら、必要な議論、行事を続けていくことではないかと思えます。江戸東京歴史文化ルネッサンスの現在のペースでよいのではないかと思う(50代女性)
- [16] 江戸時代、江戸城全体を再生することは、日本のみならず、世界が注目する宝であり、歴史文化資源や観光、経済波及効果の面からも、いずれは、行政の積極的な取り組みがあって、しかるべきと思うが、東御苑や歴史の特異性から、民間が主導するテーマではないか? 先ずは、継続した提言活動を求めたい(40代男性)
- [17] 江戸城から歴文化街づくりへの面への広がり、いろいろな方が参画しやすくなったと思う。一方、本格的な学術研究が進まないと思うので運動の発展は望めないと思う(60代女性)
- [18] 本提言は、いま、ここから、自分と仲間とで、「欲しい未来を共につくっていこう」というメッセージであると感じた(40代男性)
- [19] 奈良、京都、大阪の一部などは古代中世の歴史遺産を重視した多くの人々を魅了する都市になっている。東京は近世、近代を首都とする歴史的文化資源が日本一多く、伝統産業の日本有数の都市である。現在、東京は江戸の歴史的文化性は希薄となり、それぞれの区・地域も分断されている場合ではないと感じた(60代女性)



**みなさまのお声を聴かせてください**  
**貴重なお声は運動のプロセスとして記録し、今後の活動に**  
**活かしてまいります。**

